

美喜和会オレンジホスピタル

(平成 22 年 3 月 9 日訪問)

■平均在院日数 286.8 日(平成 21 年 9 月 30 日時点)

◆病院全体◆

平成 20 年 11 月に新築移転。名称が「淀の水病院」から「美喜和会オレンジホスピタル」に変更。敷地内禁煙を実施。院内外の講師によるセミナーも実施。

前回訪問(平成 19 年 10 月)から改善点など

ハード面の古さ、狭さからくる問題は新築によって解決。常勤医師や PSW 数の充実は、その他の職種も含めて年々増加。OT や音楽療法士、臨床心理士等大幅に増加。入浴回数は 2 回のままで、入浴日以外も使えるシャワー室がある。「助かる」との声もある一方で「もっと入りたい。シャワーじゃなく湯船に付きたい」との声もあった。薬の渡し方は「食後に看護師さんが確認しながら持って来てくれる」とのことだった。任意入院患者の開放処遇については開放病棟が 31 床から 60 床に増えていた。意見箱への意見やその回答が掲示。

退院支援

公営住宅にグループホームをつくり、今後も増やす予定がある。患者ごとの退院促進経過表をつくり、退院促進に向けたチーム支援を行う。「慢性期患者様ファイル」を共有し週間予定を記入。何回カンファレンスができていくかチェックする。

意見箱

詰所のカウンターの隣の台に有。2E は特定の患者が一人で使えず為、詰所で記入用紙を手渡し。看護師長、病棟長が意見箱の鍵を開け、落書き等を除外し医局会で報告。掲示板に「顧客満足度委員会」作成、意見箱への声とその回答が掲示。

料金設定

金銭管理料は 105 円/日。洗濯機・乾燥機代は、200 円/60 分。お茶代(給茶・給湯機があり、個人のコップでお茶や冷水を自由に飲める)は 21 円/日。お茶代以外は一律徴収ではない。

◆ 病棟の様子 ◆

病室 個室以外のベッドごとにカーテンが有。床頭

台、収納棚が有。鍵付ロッカー 32 円/日。

電話 詰所から離れた壁面、話声が聞こえない距離、着信専用の電話も詰所から離れた壁面に有。公衆電話は緑色のカード式とコイン式が有。

面会室・診察室 各病棟にあった。

◆ 2E (精神科急性期・男女混合・閉鎖)◆

清潔感があり落ち着いた雰囲気。50、60 代以上の高齢の方が多い。病棟内や病室では面会中の家族の姿が見られた。

扉はオートロック。入院患者にとっては看護師が施錠する姿から管理的な威圧感を受けることが減少しているように思われた。詰所は車イスで届く高さのオープンカウンター。

隔離室

扉上部に窓があり、ガラスとガラスの間にブラインドが内蔵。室内の様子を見る時に外部からブラインドを調整する。洗面台のスペースは扉で仕切られていた。室内の床、壁面は弾力性があり、大きな窓からは陽光が入り、ブラインドで光を調整可。便器は廊下側から見えない位置に有。流水制限のため、便が流されず残っていた。

患者の声

「入院してひと月。診察は週 1~2 回。貴重品は自己責任。鍵は使ってない」「お金を他の人に盗られた」「貴重品は持たないようしてる」「27 年入院。退院していいと言われている。退院が決まり、ケースワーカーと退院先を考えている」「入院して 1 ヶ月。診察は月 2~3 回だが、もっと診て欲しい。看護師に話を聞いてもらってる」「おかずを良くして欲しい」「内科病院から転院。なぜ転院になったのかの説明がなかった」「入院して 2 ヶ月。携帯電話を持ってないので不便。公衆電話を使う」「診察は週 1 回」「4 月の退院に向けて準備中」

◆ 2ES (ストレスケア・男女混合・開放) ◆

廊下の突当りにリビングスペースが有。キッチンや冷蔵庫、ソファー等有。

病室 全室が有料の個室。外部からの着信が可能な電話、テレビ、インターネット回線が有。全室にトイレ、冷蔵庫、5 室バスルームも有。

◆ 2W(認知症病棟・男女混合・閉鎖)◆

貴重品は紛失等のトラブルがある為、持込まないよう伝えている。患者自身が買物する際に必要なお金については、いつでも出金が可能であり、患者の状態に応じて日渡しや週渡しにしている。

共有スペースのテーブル席に、患者が多く座っておられ、テレビを見たり談話していた。

病室 外から施錠できる個室が数室あり、患者の状態に応じて主治医の指示のもと、夜間施錠を行う。施錠中は30分ごとの定期観察を実施。

◆3W(精神科一般・退院前・男女混合・開放)◆

急性期の症状が落ち着いた方や慢性期の方に、OTやSST等を通じてサポートしていく病棟。日用品の自己管理は、約30名で残りは詰所で管理。金銭の自己管理は4~5名で、月渡しは1割弱、週渡し1~2割、日渡しが一番多い。

任意入院43名中、17名が開放処遇、残り26名は職員との同伴外出。月1回、患者6~8名と職員3名位で、車に乗って買物に行く。OT室に行く等、動線を長くもつように考えている。体力的に無理な方のためには病棟OTも実施。

ベッドに横になっている患者、中庭に面した4ヶ所の食堂で会話していたり、テレビを見ている患者など様々だった。茶系の何種類かの病衣を着ている方が半分強で、毎月費用精算する。洗濯を自分で行う患者は約8名。隔離室2室は使用中、治療行為のため話はできなかった。

病室

4人部屋と個室が有。個室は、隔離室として使用の際は中からは開かない。トイレは区切りのあるコーナーに入口があり、手すりの設置等はバリアフリー基準、夜間の事故が起きにくいよう工夫。

患者の声

「ご飯はおいしい。だけど量が多い時と少ない時とがある」「入院してもう10年ぐらい。先生から退院の話はない。ケースワーカーともよく会うけどそんな話はない。退院したい」「色々な出来事が重なってしまい、外出ができなくなった。僕なりに反省しているから外出できるようにして」「診察は週1回。先生とも話

せる」「車に乗って駅前のスーパーへ買物に行く」

◆ 3E(精神科一般・療養・男女混合・開放)◆

全員任意入院。退院前病棟。60~70歳代が多い。開放時間は6時~18時。食堂は3ヶ所、各机に病室番号の札があった。職員に「テレビが見られる場所と見れない場所があり、平等にする為に机の病室番号札が定期的に変わる」。

OTやSSTと連携し、普段からセルフケアを進めるような関わりを行っている。具体的には歯の清潔を保つ、金銭感覚を保つ方法、買物、外出やレクリエーション等。洗濯物が廊下や部屋に干されていた。洗濯機に「洗濯支援」の表が貼られていた。病室ごとに曜日が決まっている。

患者の声

「ゆるりとした病棟なので、もっと身体を動かしたい」「トイレに呼出ボタンがあって、押すとブザーランプがつくので何かあっても安心」「薬を飲んだかどうか忘れるので、部屋に1週間分の服薬を自分で管理できる袋を買ってきてもらって金曜日に自分でセットしておける」「主治医と担当看護師、ケースワーカーの名前はわかる」「診察は週1回。診察時の30分前から診察室の前にプラスチック製のイスが並べられそこで先生を待つ。話は外には漏れてないから安心」「退院の話は聞いたら教えてくれると思うけど、聞いていない」「看護師さんも話しやすい」「通院のために週1回外出。他にはあまり出ない」「病院は綺麗になったが長く入院している患者の面子は変わらない」

◆積極的な取り組みなど◆

●常勤医の確保、地域医療経験のある医師や教員経験ある看護師の管理職起用、リハビリテーションや退院に関わるスタッフ等の増員等によるサービスの向上に取り組まれている。

●認知症病棟では失禁のある患者の陰部洗浄は毎日する。それにより個人の清潔保持以外に、認知症病棟で臭気のない空間が保たれている。

●ナースコールの全病床配置など、患者目線に立った取組がなされている。

●入院時、入院に関する詳細について冊子が配布され、情報提供されている。

●洗濯支援等、退院後の生活を見据えたプログラムが日常的に行われている。

●病院から距離のある住宅地にグループホームを開設し、訪問看護を展開する等、退院支援及び地域生活支援に向けた取組がなされている。

●投薬治療の単剤化に向けた取組がある。

◆検討事項◆

病院の風通しをよくするために第三者の関りを外部の人権委員の参加等、第三者の意見が反映されるシステム作りを取組んでいただきたい。(病院:外部委員の参加を現在検討します。)

退院に向けて外出促進への工夫

「外出はできるけどバスが限られている。乗り遅れたら市バスを使わなくちゃいけない。せめて1時間に1本のペースで出して欲しい」との声があった。(病院:1時間1本のペースでバスの運行を検討。)

「ちゃんとした理由があれば外出できる。理由をノートに書くのが面倒で外出できない」との声があった。退院促進には、外出促進も重要な要素である。「売店」「院内散歩」「院外散歩」等の項目に○をつける体裁にする等、外出する為の阻害要因を少しでも減少していただきたい。(病院:外出理由項目を丸で囲む様式に変更、使用開始。)

薬についての説明

「薬が増えたけれど、内容を説明してもらえなかった。飲むとどうなるのか心配」との声があった。説明の乏しい場面がないか、伝え方等に改善の余地がないか等、検討していただきたい。(病院:現状診察場面・薬剤師による服薬指導の中で説明しているが、さらに検討を進めます。)

意見箱の扱い

看護部長、病棟長が意見箱の鍵を開け、落書き等を除外して対処されている。意見箱を開けたり、より分ける作業は院長やPSW等病棟の看護現場から距離のある立場の方が複数で行う等の工夫が必要ではないだろうか。(病院:H22年5月より、意見用紙回収作業は地域医療相談室が担当、第三者から見ても公平な手順へ変更しました。)

◆おたずねなど◆

●閉鎖病棟での任意入院患者数を教えてください。(病院:4月末日現在156人中任意入院者数92人)

●金銭管理の現状(自己管理、病院管理の人数)を教えてください。(病院:5月17日現在、自己管理47人小遣い金預かり管理利用180人。)

●行動制限最小化委員会が設置され、活動されているのか教えてください。(病院:行動制限最小化委員会が設置され、月一回各病棟の行動制限状況について改善点がないか検討している。)

●平均在院日数は淀の水病院からの入院日数も含めて算定されているのでしょうか。(病院:淀の水病院からの入院日数も含めて算定)

●「障害者専用住宅へ見学に行ったら、同じ部屋に4~5人が布団を敷いて寝ていた。ここでは1人1室で暮らしているので、こちらが良い」との声があった。退院先の候補にそのような状況があるのでしょうか。(病院:このような状況にある退院先候補は確認できません。)

